

2019年1月吉日

健保だより32

新電元工業健康保険組合
理事長 白羽 真

新年あけましておめでとうございます。

被保険者並びにご家族の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、当健保の事業運営に対し、日頃より格別のご理解とご協力をいただき心より御礼申し上げます。

皆様もご承知のとおり、全国の健保の財政は、高齢者医療制度への過重な納付金負担の為に厳しい状況が続いています。

2042年には高齢者人口がピークに達し、生産年齢人口の減少が予測されることから、将来への不安感も高まっていますが、国民皆保険の持続性を確保する為にも、増え続ける高齢者医療費の負担構造改革を国に求めていくのと並行して、当健保と致しましては、皆様の健康づくりを積極的に推進するという使命を全力で果たして参ります。

今年度より、「第2期データヘルス計画」がスタートしており、特定健診の受診率向上、特定保健指導の実施率向上に積極的に取り組んでおります。また、そのデータ分析から得られた健康課題の改善をするべく保健事業への展開を進めてはいますが、まだまだ納得のいく結果（効果）が得られておりません。

今後も引き続き、事業主との連携をより深めて、しっかりと取り組んで参ります。

皆様におかれましては、日々の健康づくりと共に、医療機関にかかる際の適正受診、ジェネリック医薬品の使用などを通じて、医療費の節約にご協力いただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって幸多き一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

以 上